

～闘魂記～

西東京市立ひばりが丘中学校第2学年

第13号 2026年 5月15日(金)

「闘魂」・・・魂をもって闘おうとする気持ち

学年目標「根気」と「責任」

「交通安全から学ぶこと」

先月の始め、全国交通安全運動がありました。全国交通安全運動とは「正しい交通ルールやマナーを知り、安全について考え、交通事故をなくそう」という考えのもと、1948年から毎年春と秋に10日間行われています。

全国で発生した交通事故で、死亡したり、重傷を負ったりした中学生で最も多いのは「自転車乗用中の事故」です。中学生の交通事故の約7割を占めています。中学生は自転車に乗って移動する機会が多いことや交通事故の危険性に対する認識が低く、交通違反をして事故にあうことが原因としてあげられています。ただ自転車は交通ルールを守り、安全に運転していればとても便利です。そんな生活に必要な自転車ですが、自転車の運転と日々の学校生活の中で大切なことはいくつか共通点があります。

交通ルールを守ることは、「人に思いやりをもって接すること」と同じです。また、自転車はこぎ続けていないと不安定になり止まってしまう。ペダルをこいで前に進んでいるときは安定して走り続けることができます。これは「人は現状維持に満足し、挑戦をやめてしまうと次第に成長が止まってしまうこと」と同じと言えるのではないのでしょうか。

先週から運動会に向けて体育行事委員が本格的に動き出し始めました。体育の授業でも運動会の練習が少しずつ始まりましたが、生徒の中には運動が苦手な人、好きな人、様々です。今年で66回を数える運動会はひばりが丘中学校の伝統です。毎年、生徒たちが主体となり運動会をつくり上げてきました。今年もその伝統を引き継ぎ、運動会を成功させるためには、運動が好き、嫌いはあるかもしれませんが、全校生徒が自分に出来る挑戦を積み重ね、ペダルをこぎ続けていると安定する自転車のように前に前に進み続けることが必要です。

苦手なことに挑戦するにはリスクがあり、ハードルが高いかもしれません。しかし、大丈夫です。ひばりが丘中学校には人の挑戦や頑張っている姿を馬鹿にする人はいません。うまくいなくてもまた挑戦できるように支えてくれる、思いやりのある人はたくさんいます。そんな人たちを支え、中心となるのが体育行事委員です。苦手な人たちがいることや励ましの言葉を忘れず、クラスをまとめ熱く頑張りたいと思います。

<第66回運動会スローガン決定!!>

完全燃焼 ～ Do Your Best! ～

「完全燃焼」とは“力の限りを尽くす”という意味があり、クラス・学年・学校が一丸となり、ひばり中の力を出し切り、運動会を成功させるという意味があります。サブタイトルの「Do Your Best!」には「一人一人がの力を出し切る」という意味があり、全校生徒で熱い運動会を築き上げていくという思いが込められています。

「とある先生の日常」

A先生は、今年ひばりが丘中学校に赴任してきました。教科は理科で部活は科学部を担当しています。昨年度まで大学生でしたので、このひばりが丘中学校は教員になって初めての学校になります。生徒の前の自己紹介では「身長が俳優の目黒蓮さんと同じです」と話をしていました。4月から様々な仕事を自ら覚えようとする姿がとても印象的です。そんなA先生は誰よりも「教育に対する熱い情熱」と「生徒に対する深い愛情」をもって教育を実践しています。

